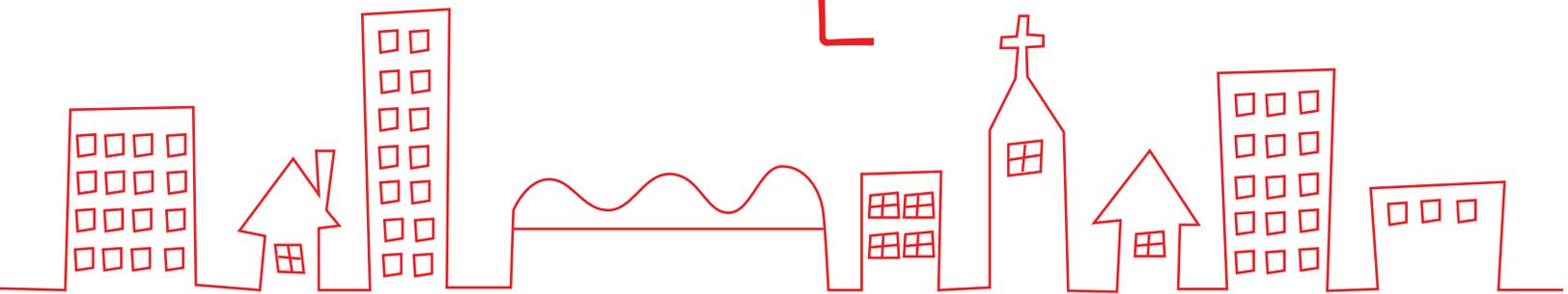


サービスデザインで まちを変える らしさが変わる

Co-creation of Future City Yamaguchi:
Changing City, Life changes by Service Design



国際フォーラム ～未来都市 山口の共創～

プレゼンテーション&パネルディスカッション

パネリスト

- エドワード・スタショウスキ (都市計画)
- ララ・ペニン (サービスデザイン)
- マルヤッタ・ヘッキラ=ラスタス (ファッション)
- 水谷 由美子 (国際文化学部長)
- コーディネーター 中村 仁志 (看護栄養学部長)



ライフイノベーション展 2014

ライフイノベーション研究チームメンバー

- 水谷 由美子 / 中村 仁志 / 松尾 量子
- 倉田 研治 / 長谷川 真司 / 山崎 あかね / 太田 友子

■主催

山口県立大学

■企画運営

地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)
ライフイノベーション研究チーム

■研究協力

ナガイレーベン株式会社
原田株式会社
うるとらはまいデザイン事務所
匠山泊
有限会社ナルナセバ

2014.12.14 (sun) 14:00 ~ 16:30 (13:30 開場)
山口ケーブルテレビジョン株式会社 1F
山口市中園町 7-40 - 入場無料 -



Eduardo Staszowski

建築家、戦略的デザイナー。

ニューヨークのThe New School for DesignのDesign Strategies at Parsons教授である。同校ではTransdisciplinary Design MFA program (超学際デザイン美術修士課程)の担当、Parsons DESIS Labのディレクターでもある。現在の研究では、デザインと社会的イノベーションと公共サービスの接点をテーマとする。



Lara Penin

建築家、サービスデザイナー。

ニューヨークのThe New School for DesignのDesign Strategies at Parsons教授である。Integrated Design BFA program (統合デザイン美術学士課程)のサービスデザイン教育分野コーディネーターを務める。また、Transdisciplinary Design MFA program (超学際デザイン美術修士課程)の担当であり、Parsons DESIS Labの共同設立者でもある。現在の研究では、サービスデザインと社会的イノベーションを通じた維持可能な生活様式のモデル化をテーマとする。



Marjatta Heikkilä-Rastas

ラップランド大学芸術デザイン学部副学部長・教授。芸術学博士。長年にわたり、デザイナーの責任を視野に入れて、ユーザー中心主義の服飾デザインの視点に立ち、伝統や美意識を大切にしつつも機能性や持続可能性を重視する服飾デザインの研究に取り組む。最近10年間に国内外での多くのプロジェクトに参加。昨年からはサービスデザインの手法を服飾デザインのプロセスに取り入れて、共同デザインの可能性や公共の服飾デザインについて研究している。



水谷 由美子

2013年から文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」に取り組むために、山口県立大学の3学部から選ばれたメンバー7名で、ライフイノベーション研究チームを結成しリーダーを務める。ライフイノベーションに向けたサービスデザインの応用可能性をテーマに、特にナースウエアデザインについて、産学官連携によって実践的な研究に取り組んでいる。ラップランド大学との学术交流によって、SINCOに学びサービスデザイン・プロトタイピング・システム(SPS)を構築し、実験を行っている。



中村 仁志

文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」のライフイノベーション研究チームで医療職のウエア、特にナースウエア(ユニフォーム)について新しい提案のため、サービスデザインの手法を用い、サービスデザイン・プロトタイピング・システム(SPS)によって、参加者と一緒に、これまで以上の機能的で新しいアイデアのナースウエアを検討するワークショップ等を実施し、研究を進めている。

